つゝある。

資本主義的搾取にかゝんで社會的な組織は失業青年等勞働者を全く手厚同盟に解放してゐる。目もあてられぬ如今年勞働「組織部屋」「ハンパ」組方制度、現物賃銀、青年なる故に安い賃銀等に都市勞働者よりもいゝようと安い賃銀等々。青年の文化的要求は何一つとして滿足されない、故郷なるや青年をアルバイト過程の犠牲とする為に愛國主義、排外主義、皇國主義、をつめこむための教育である。我々の要求する七時間勞働「週、十八才以下六時間制、十六才以下四時間制、一週五日間制もなく、一ヶ年一ヶ月の休暇、食料による自由に使用出來る賃金、保護服、の故郷もない。我々に對しては政治的私權は何一つ與へられてゐない。組織權、結社權もなく治安警察法の適用される同盟へ加入は禁止され青年の革命的組織は弾圧されてゐる一方アメリカ組織は公然とノサバリ出つてゐる。軍國

主義も青年を官しめる缺の道の一つ。政治は人間によつて動きそれを失ふ青年は盲目によつて動を失ふ、兵隊の生活は組織にひとしい工に戰爭の時は犠牲として生活に立たされる、故目ナベ、は生活部隊人と少年である、食糧及生活手段の部人は組織に出て又は組織をする、為に青年部人は貧しかる組にして大工に問題をかるそれも資本の不安、首切りで時間をとられなくなれてゐる。一九三一年五月頃又時でも組織者の不動賃銀は四百十万圓に上つている。特に勞働部隊兵見立の名による強制徴集は教育勞働者の左翼化と組織つて少年の間組時間學への參加を強々增加してゐる。少年部人の同學に於ける工場組織は強大して來た、そして若々しいプロレタリアートの組織の下に日本の生活における組織同學の中心勢力となり政學及アアルバイト に關する同學の全國組として闘く為に於ける青年大衆の利益の為に闘つてゐるのだ。